

Case 2 高校生の音楽 2

「八木節パラフレーズ」で表現力が躍動する



先生：(CDをかける)教科書の102・103ページを開いて。この写真のうち、どれかがこの曲を演奏している風景です。さてどれでしょう。

生徒：ええ、お祭りの曲みたいだけど……一番右下の写真？

先生：惜しい。よく聴いて、使われている楽器と見比べてみて。

生徒：歌と笛、太鼓、鈴ではない金属の音……。ああ、「八木節大会」だ。

生徒：大会まであるなんて、ずいぶん人気のある民謡なんだな。

先生：その通り。いま聴いたようににぎやかで人をひきつけるから、八木節に関連するお祭りはたくさんあるんだ。今日はこの八木節を基にした曲をソプラノ・リコーダーで演奏しよう。66ページの「八木節パラフレーズ」だ。パラフレーズとは、原曲を素材とした自由な作品のこと。皆さん、八木節を聴いて、どの部分が一番印象に残った？

生徒：「ああああ、あああ〜」。

生徒：うまいな！

想像力と創造力で、めいっばい表現する

先生：じゃ、まずそこからソプラノ・リコーダーで吹いてみよう。今の歌の部分は楽譜の最後の段だね。①パートから練習しよう。

生徒：できた！ 気持ちいいなあ。

生徒：指が動かない……

先生：最初はファソラドだけ繰り返して練習してごらん。できたら、ド・ラドレ。つなげればできあがり。

生徒：ほんとだ。意外とできる。こんなに簡単なんだ。

先生：いきなり全部吹くのは大変だけど、短く区切れればできるもんだ。

生徒：それに日本の民謡だから、音階に出てくるのは5つの音だけだね？ 去年習った。使う音の数が少ないから、吹きやすいんだ。

生徒：ああ、音階ね、覚える覚える……うん。

先生：けっこうけっこう。じゃ、今の①パートが吹けた人は同じところの②パートを練習して。

生徒：どんどん進みます。

生徒：もう少し上のパートを練習します。

先生：うん、慌てずにね。運指が流れないように、丁寧に。……①②パートに分かれて合わせてみよう。

生徒：おお〜、ハモった。動きが揃ったら、もっと迫力が出そう。

先生：じゃああと1小節だけ練習して、最後の5小節をハモろう。かっこよく決めたいね。

生徒：これも簡単。ワッショイ！

生徒：でも、私はリコーダーより原曲みたいに歌と和太鼓を使うほうがいいな。

先生：それではグループを作ろう。歌うもよし、楽器を使うもよし。ここからは楽器編成だけじゃなく、グループでの工夫をどんどん試して、想像力と創造力でめいっばい表現するんだ。歌うグループは53ページの「日本の民謡〜歌い方のポイント」も確認して……

生徒：歌いたい！ 誰か打楽器やりたい人いない？

生徒：先生、お箏使わせてください！